

こども新聞
週刊

がほピョンプレス

毎週日曜発行
2022 5/15

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



電力需給逼迫警報って？

ニュース



東北電力と東京電力のエリアに3月22日、「電力需給逼迫警報」が出され、節電が呼びかけられたね。どんな状況だったのか専門家に聞いたよ。

電力会社から家や学校などに送られてくる電気



天気や電力消費量を予想しながら発電所に指令を出す東北電力ネットワークの中央給電指令所(同社提供)

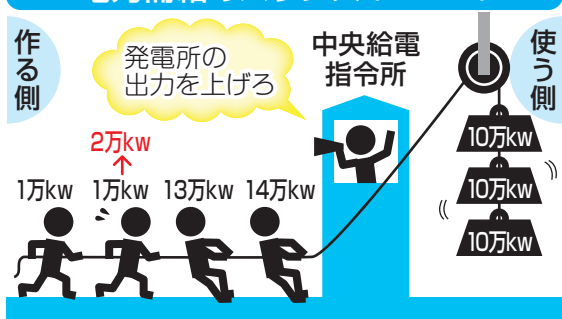
は「交流」と呼ばれ、プラスとマイナスが東日本では1秒に50回切り替わっています。これを周波数と言います。

電気を使う量が発電量を上回ると周波数が下がります。発電量が多い場合は上がります。周波数が一定しないと、機械や電化製品がきちんと動きません。

電力システムに詳しい東北大学の斎藤浩海教授は「1秒で地球を7周半する速さで伝わる電気

発電足りず節電お願い

電力需給のバランス(イメージ)



は、ためるのが難しい」と説明します。ためておけないので、使う量と発電量を常に同じに保ち、周波数を一定にする必要があるのです。



電力会社の中央給電指令所という部署は、使う量と作る量が同じになるよう24時間体制で監視しています。使う量の変化に応じ、発電量を増減するように指示します。

斎藤教授によると、電力会社は、発電所がトラブルなどで急に止まってしまい、使用量予測を10%ぐらい上回る発電能力を確保するように

しているそう。「余力が3%を切るとトラブルに対応できなくなる。発電量がどうしても足りない場合、使う側を制限してバランスを取るしかない」と解説します。これが計画停電です。



3月16日に発生した地震で、福島県や宮城県にある火力発電所がいくつか停止しました。発電能力が減った中、3月22日は気温が低かったため家や会社での暖房使用が増加。曇りで太陽光発電も機能せず、余裕が3%を切りました。大規模な停電を避けるため国が警報を出し、節電をお願いしたのです。

斎藤教授は「電力システムはとてもデリケートなバランスで成り立っている。警報が出されたら節電を心がけてほしい」と話します。

地震の影響に寒さが重なって電気が不足しかかったんだね。日頃から節電を心がけよう。

今週の注目ニュース

◇15日(日) 沖縄本土復帰50年

1972年のこの日、第2次世界大戦から27年間アメリカの統治下にあった沖縄県が、日本に復帰したよ。パスポートなしで、本土に行けるようになったんだ。車の左側通行への変更は、この6年後だったんだって。

きょうの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ